

豊庄だより



第 616 号 2020 年6月1日

ようやくというか待ちに待った2つの入学式（5月21日（木）中学校、23日（土）に小学校）が行われました。新型コロナウイルスの影響で、卒業、卒園をしてから宙ぶらりんの状態が長く続き、さぞかし待ち遠しかったことでしょう。しかも、学校によっては感染防止のため何回かに分けて行われ

福岡市早良区南庄2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



たところもあると聞きました。子どもも親も、そして、教職員も初めてのことで、てんてこ舞いの様子が想像できます。

しかし、保育園に式を終えて来てくれた子どもたちは、新しい世界に踏み込んで期待と不安で一杯の様子は、いつもの年と変わらない印象を受けました。ちょっと違うなと思ったのは、例年になく園庭を縦横無尽に駆け回

る姿でした（特に小学1年生）。中学1年生は、訪れた時間にちょうど園庭でひまわり組がタイヤを並べその上を歩きながらボールをつくというミニ体操教室を行っているところで、担任の中西先生に、「お手本を見せて」と声をかけられ、実に上手に披露をしてくれました。

ここ数年、毎年恒例の光景ですが、たくさんの卒園児のみなさんがやってきてくれて、成長していく姿を間近に見ることができる喜びを感じています。学校においては、担任が転勤で母校にいないケースが多く、訪ねていっても知った先生はもういないということがしばしばで、その点、保育園は当時の担任を始め多くの職員が在籍していて、再会できるのはとても良いことだと思っています。



※ところで、私の家にはまだ例のマスクが届いていません。嫌がられているのでしょうか？